

## 地下水汚染機構解明基礎調査の結果概要

### 1 現地調査時期

- (1) 1回目 令和6年8月から9月
- (2) 2回目 令和7年1月から2月

### 2 地下水汚染機構解明基礎調査の内容

- ・ 調査対象地域における地層の分布状況を把握できる資料を収集し、帯水層(※1)区分を行いました。
- ・ 藤ヶ谷地域で実施した地下水調査の調査対象井戸のうち24本の井戸において、井戸の深さや地下水が汲み上げられる位置、水面の高さ等を測定しました。
- ・ それぞれの井戸が取水している帯水層を推定し、帯水層ごとに、地下水の流れる向きを推定しました。

※1 帯水層とは、地下水で満たされた、砂層等の透水性が比較的良い地層であり、一般には地下水取水の対象となり得る地層のことです。

### 3 調査結果

- (1) 調査の結果、調査対象とした井戸の取水層は、第1帯水層～第3帯水層(※2)までの、3つ(※3)の帯水層と推定されました。推定された各帯水層の深度は、次のとおりです。

- ・ 第1帯水層 標高約5mより上部
- ・ 第2帯水層 標高約-5m～約-2m
- ・ 第3帯水層 標高約-28m～約-12m

※2 地表に近い側から、第1帯水層、第2帯水層……の順になります。

※3 帯水層区分は、収集した既存資料から推定したものであり、今後の調査により実際の地層の状態を把握できた場合には、区分が変わる可能性があります。

- (2) 3つの帯水層のいずれについても、その地下水を汲み上げている井戸の中に、暫定指針値を超過した井戸が確認されました。

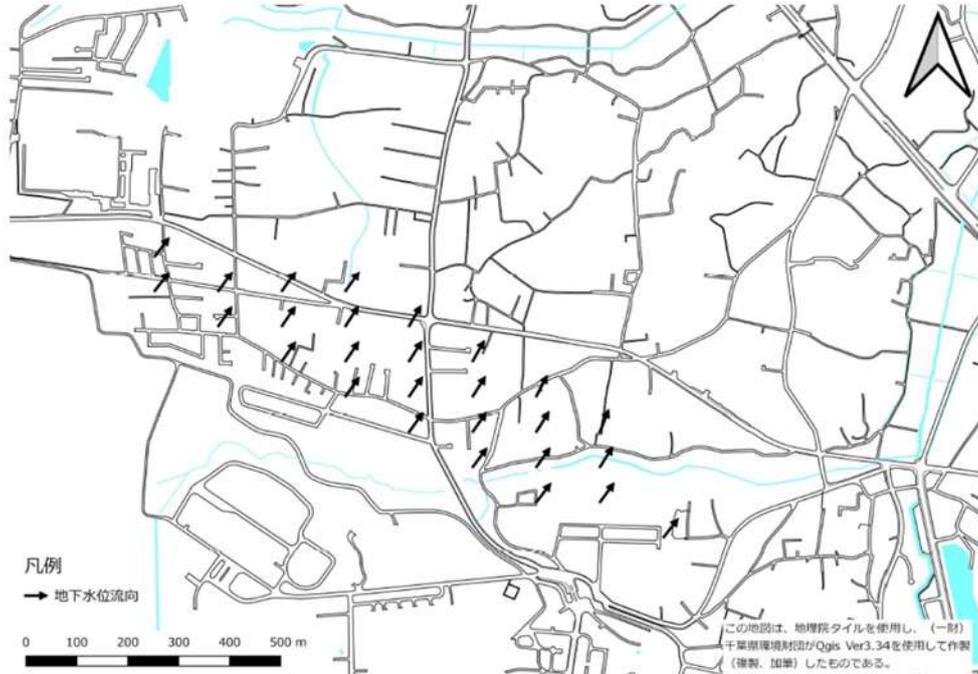
- (3) 調査対象地域での地下水流向

ア 第1帯水層

南西から北東に向かう流れが推定されました。

より高い濃度の PFOS 及び PFOA を含む地下水は、地下水  
流向の上流側である南西側に分布していました。

**【第 1 帯水層流向推定】**

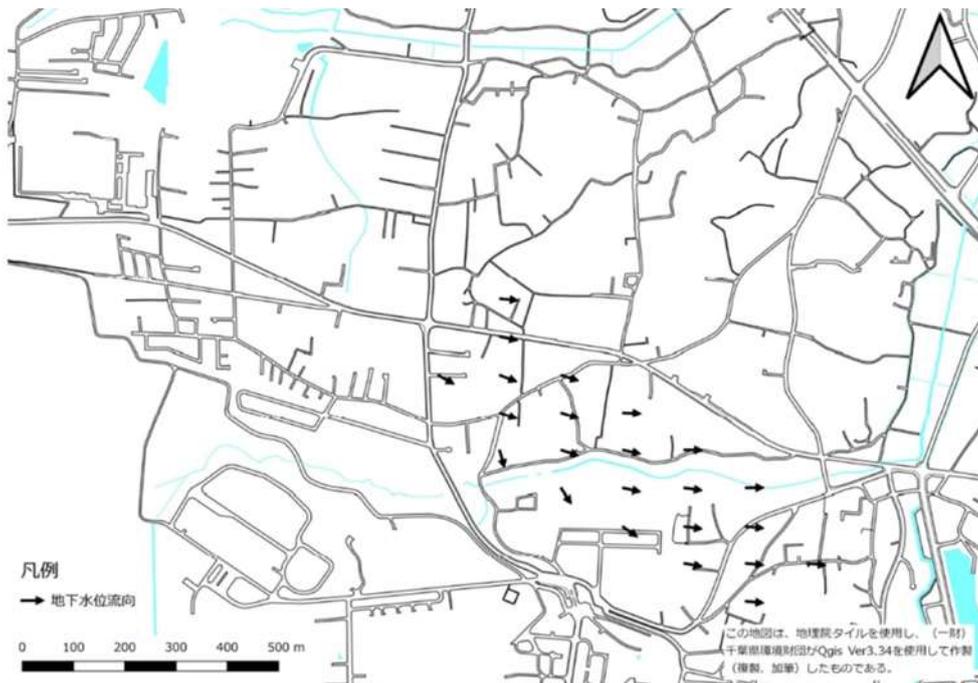


イ 第 2 帯水層及び第 3 帯水層

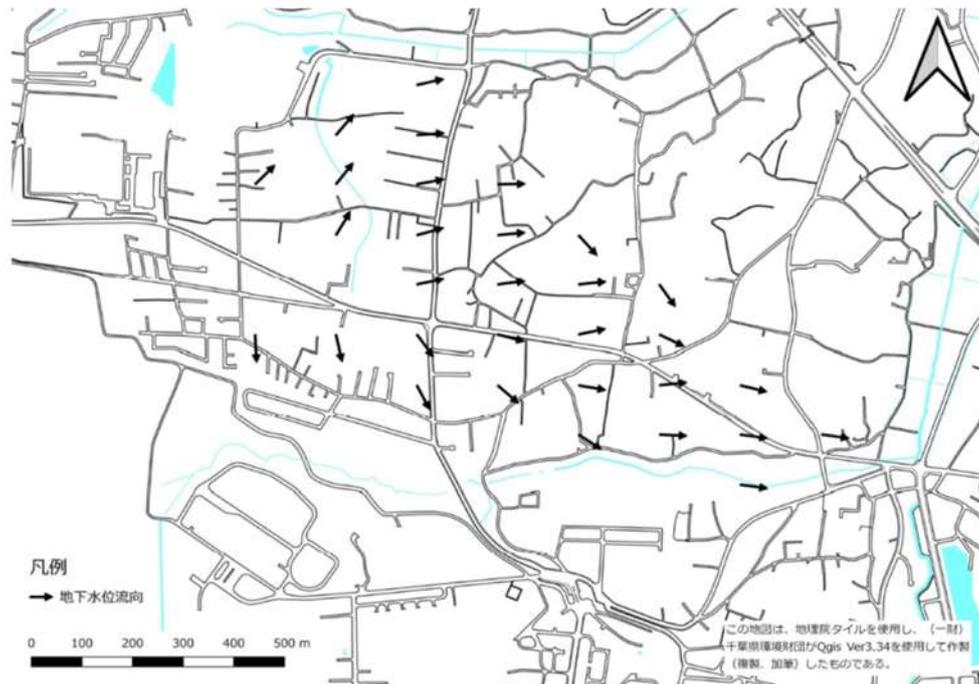
どちらも概ね西から東へ向かう流れが推定されました。

より高い濃度の PFOS 及び PFOA を含む地下水は、地下水  
流向の上流側である西側に分布していました。

**【第 2 帯水層流向推定】**



### 【第3帯水層流向推定】



#### 地下水流向推定に関する注意事項

- 各帯水層の流向図は，令和6年8月～9月と令和7年1月～2月の実施した2回の現地調査の調査結果に基づく推定結果です。  
(地下水流向は季節で変動する可能性があります。)
- 又，この流向推定は，既存資料から推定した帯水層区分に基づいており，今後の調査により，藤ヶ谷地域における実際の地層構造の情報が得られた場合には，流向推定の内容が変わる可能性があります。